

観光社会資本の事例

テーマ	エメラルドグリーンの海を跨ぐ、自然と調和した角島大橋
【施設の状況写真】	
	
<p>角島大橋の全景。自然と調和して、美しい景観を形成している。</p>	<p>角島大橋の夜景も美しく、多くの写真家が撮影に訪れている。</p>
【施設の利用写真】	
	<p>橋上からの素晴らしい景観を楽しむことができ、また、橋を渡れば角島灯台公園や大浜キャンプ場・海水浴場があるため、多くの車やバイクがこの橋を利用している。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>角島大橋は平成12年11月3日に開通し、それまで船で約30分かかっていた角島へのアクセスが大幅に向上しました。観光面でも、北長門国定公園の美しい景観と調和した角島大橋には、多くの観光客や写真家が訪れています。また、角島大橋の開通により、角島内にある角島灯台公園や大浜キャンプ場・海水浴場などの利用者も大幅に増えております。</p>	

テーマ	エメラルドグリーンの海を跨ぐ、自然と調和した角島大橋
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称 角島大橋</p> <p>○所在地 山口県下関市豊北町附野～山口県下関市豊北町元山</p> <p>○事業名 過疎地域市町村道代行改築事業</p> <p>○事業主体 山口県(平成3年度は豊北町)</p> <p>○事業期間 平成3年～平成12年(平成3年は町事業)</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>○利便性の向上および生活圏の拡大</p> <p>開通前は渡船が1日7便しかなく、冬場は荒天によりしばしば欠航していたが、橋の開通によりいつでも本土に行けるようになった上、本土までの移動時間が大幅に短縮され、通勤や通学、買い物などの不便さが解消された。</p> <p>○救急医療体制の充実</p> <p>角島大橋の開通前は船での搬送であったため、揺れなど患者への負担が大きかった上、天候、時間帯により片道約30分～数時間を要していた。しかし、開通後は夜間、早朝、天候に左右されず、いつでも救急車が約15分で到着可能になり、緊急医療体制が充実した。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 観光ホームページ(山口県下関市豊北町)</p> <p>http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/kanko/ja/hohoku/index.html</p>	